

構成資産一覧

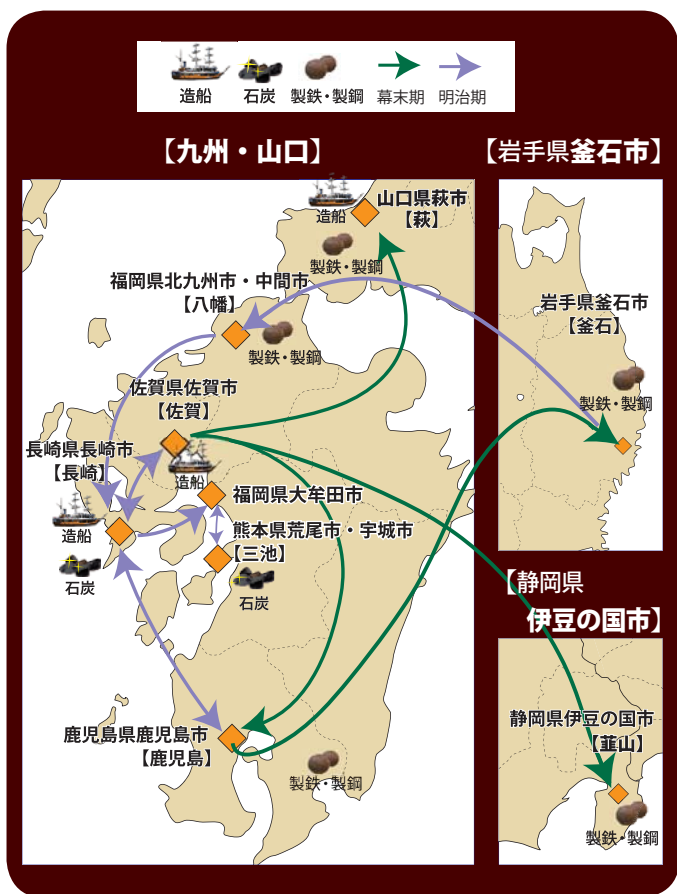
エリア	サイト	構成資産
1 (山口県) 萩	萩の産業化初期の時代の遺産群	萩反射炉
		恵美須ヶ鼻造船所跡
		大板山たたら製鉄遺跡
		萩城下町
		松下村塾
2 (鹿児島県) 鹿児島	集成館	旧集成館
		寺山炭窯跡
		関吉の疎水溝
3 (静岡県) 韮山	韮山反射炉	
4 (岩手県) 釜石	橋野鉄鉱山	橋野高炉跡及び関連遺跡
5 (佐賀県) 佐賀	三重津海軍所跡	
6 (長崎県) 長崎	長崎造船所	小菅修船場跡
		長崎造船所 第三船渠
		同 ジャイアント・カンチレバークレーン
		同 旧木型場
		同 占勝閣
		高島炭坑
		高島炭坑
		端島炭坑
		旧グラバー住宅
7 (福岡県) 三池	三池炭鉱・三池港	
	三角西港	三角西(旧)港
8 (福岡県) 八幡	八幡製鐵所	八幡製鐵所
		同 遠賀川水源ポンプ室

明治日本の産業革命遺産

なぜ、**韮山反射炉**は九州・山口・岩手とともに世界遺産登録への道歩んだのか？



技術交流相関図



23の構成資産は、いずれも明治日本の産業革命遺産の顕著な普遍的価値(世界遺産としての価値)を証明するために、最適かつ必要不可欠な証拠となるものです。

それでは、その中で**韮山反射炉**はどのように位置付けられているでしょうか。

韮山反射炉の位置付け

「製鉄・製鋼」・「造船」・「石炭」

19世紀半ばから20世紀初頭にかけて、非西洋諸国で初めて、かつ、極めて短期間に産業における近代化を成し遂げた日本。その成功を支えたのは、「製鉄・製鋼」と「造船」と「石炭」でした。そして、「日本の近代化の先駆け」として位置付けられる産業遺産の集合体として世界文化遺産に登録されたのが、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」です。

構成資産は、岩手、静岡、山口、九州と広く国内に分布し、合計8エリア、23資産によって構成される一大資産群となっています。

その答えは、幕末期における西洋からの製鉄技術導入を示す証拠であるという点にあります。

幕末期の日本では、迫りくる諸外国の艦隊に対する防衛策の一つとして、進歩した西洋技術を取り入れるとともに、鉄製大砲の大量生産に取り組みました。佐賀、薩摩などの先駆的な藩が反射炉を築造する一方で、**韮山代官江川英龍**の進言によって幕府が築造したのが**韮山反射炉**です。

鎖国下の日本において、オランダの技術書と日本の伝統的な技術との統合により独力で反射炉築造による西洋技術の獲得を追求した試みは、**人類の価値観の重要な交流の証拠**となるものです。そして、反射炉の築造に際しては、先行して取り組んでいた佐賀との間で活発な技術交流が行われており、**国内での技術伝播を示す証拠**でもあります。

また、オランダの技術書からはごく基本的な情報しか入らなかったにもかかわらず

かわらず反射炉の築造に成功したことは、当時の日本の職人の技術力(匠の技)と伝統的な知識の高さを証言するものです。

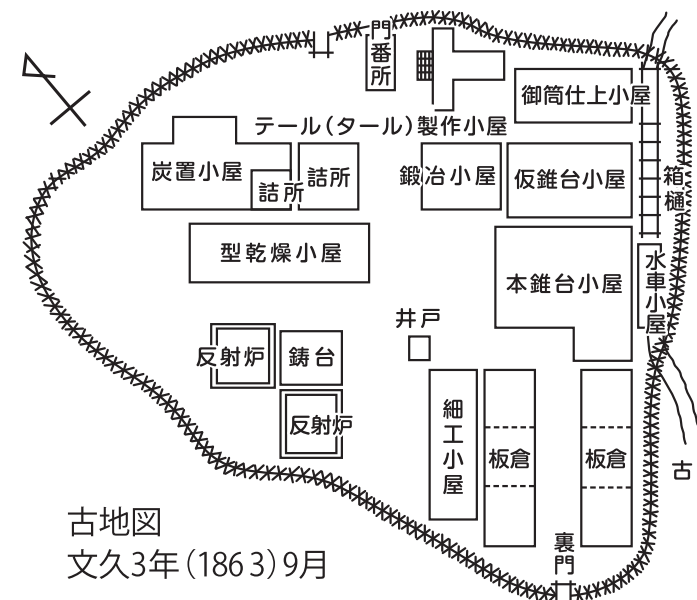
さらに、実際に稼働した反射炉として国内で唯一現存する**韮山反射炉**は、日本における近代製鉄技術導入の黎明期を象徴する重要な物証であり、「明治日本の産業革命遺産」の中で、西洋技術の自主的な採用を示す初期段階の重要な構成資産と位置付けられています。

その答えは、幕末期における西洋からの製鉄技術導入を示す証拠であるという点にあります。

幕末期の日本では、迫りくる諸外国の艦隊に対する防衛策の一つとして、進歩した西洋技術を取り入れるとともに、鉄製大砲の大量生産に取り組みました。佐賀、薩摩などの先駆的な藩が反射炉を築造する一方で、**韮山代官江川英龍**の進言によって幕府が築造したのが**韮山反射炉**です。

鎖国下の日本において、オランダの技術書と日本の伝統的な技術との統合により独力で反射炉築造による西洋技術の獲得を追求した試みは、**人類の価値観の重要な交流の証拠**となるものです。そして、反射炉の築造に際しては、先行して取り組んでいた佐賀との間で活発な技術交流が行われており、**国内での技術伝播を示す証拠**でもあります。

また、オランダの技術書からはごく基本的な情報しか入らなかったにもかかわらず



稼働時の**韮山反射炉**敷地内

製鉄・製鋼関連資産を取り巻く歴史

- ◆ 国外の動き
- ◇ 国内の動き
- 1840年 ◆ アヘン戦争 (1842)
- 1850年 ◇ 佐賀藩が国内初の反射炉建造
- 1851年 ◇ 集成館事業開始
- 1853年 ◆ ペリー来航
- 1856年 ◇ 萩反射炉が完成
- 1857年 ◇ **韮山反射炉が完成**
- 1858年 ◇ 橋野高炉の操業成功、寺山炭窯跡が完成
- 1899年 ◇ 八幡製鐵所旧日本事務所が完成
- 1900年 ◇ 八幡製鐵所鍛冶工場が完成
- 1901年 ◇ 八幡製鐵所修繕工場が完成
- 1910年 ◇ 八幡製鐵所遠賀川水源ポンプ室が操業開始